

小牧市市民活動助成金交付申請書

平成18年 5月 1日

(あて先)小牧市長

団体の名称	NPOいきいきリフォーム東尾張
所在地	春日井市宮町一丁目11番地25
代表者	甫立 浩一 印

小牧市市民活動助成金の交付を受けたいので、小牧市市民活動助成金交付要綱第7条の規定により下記のとおり申請します。

記

1 助成を受けようとする市民活動の計画

(1) 事業名称

いきいき住宅リフォーム推進事業

(介護住宅改修に関する相談助言事業、知識の普及啓発事業、情報提供事業)

(2) 事業目的

介護住宅改修を考える市民や医療・福祉関係者及び建築関係者に対して、相談助言、知識の普及、適切な情報提供を行うことにより、高齢者や障害者が住みなれた地域でいきいきと暮らし続けられる社会の実現に寄与することを目的とする。

未曾有の高齢社会を迎えつつあるわが国では、高齢者自身の幸せな自立のためにも社会的費用(税金)の有効利用のためにも、「施設型福祉」から「在宅型・地域型福祉」への転換を迫られています。

ところが日本の住宅は、いたる所に段差があったり、廊下が狭かったりと、高齢者にとっては住みやすいものとは言えません。

「在宅型・地域型福祉」を推進するには、介護者・家族の負担を軽減するため、住宅リフォームを避けて通ることはできないのです。

しかしながら、高齢者のことあるいはリフォームの技術について、生半可な知識

でリフォームを行い、多くの場合失敗しているのが現状です。

高齢者についての福祉・医療、リフォームの設計・施工の関係者が、最新の知識・技術を集め合っこそ、良いリフォームができるのです。

障害者についても同様のことが言えます。

こうしたことから、高齢者・障害者配慮の住宅リフォームの知識・技術を涵養し、しっかりしたリフォームチームを作るために、平成 17 年 3 月に「NPO 法人いきいき住宅リフォーム支援機構・愛知」が設立されました。

上記「NPO 法人いきいき住宅リフォーム支援機構・愛知」の 5 日間以上に亘る研修を終了した 主に小牧・春日井在住の福祉、医療、設計、施工の 4 分野の専門家が集まり、善意と誇りとボランティア精神を持って高齢者・障害者配慮の住宅リフォームを推進するために「NPO いくいきリフォーム東尾張」を設立しました。

本年度は、小牧市を重点地区に挙げ、介護住宅改修を考える市民や医療・福祉関係者及び建築関係者に対して、相談助言・知識の普及や情報提供を行うことにより、高齢者や障害者が住みなれた地域でいきいきと暮らし続けられる社会の実現に少しでも貢献できるよう活動します。

(3) 事業内容

・実施時期

平成 18 年 6 月 1 日～平成 19 年 2 月 28 日

- ・講習会 : 5 回開催
- ・無料相談会 : 9 回開催
- ・情報誌発行 : 9 回発行

詳細は別紙「活動計画書」参照

・事業対象

介護住宅改修を考える市民や医療・福祉関係者及び建築関係者。

本年度は、小牧市社会福祉協議会と連携をとり、介護サービス事業者連絡会、ケアマネージャー連絡協議会の方々と懇親会・研修会を実施することも計画しています。

・期待される効果

市民、医療・福祉関係者、建築関係者に対して、介護住宅リフォームに関する正しい知識を普及することにより、高齢者や障害者が住みなれた地域でいきいきと暮らし続けられる社会の実現に寄与することができる。

付随的效果としては、以下のようなことが考えられる。

- ・ 介護負担が減少し、社会的費用(税金)の有効利用が図れる。
 - ・ 家庭内事故が減少し、要介護者の発生を未然に防止できる。
 - ・ 福祉・医療関係者、建築設計・施工関係者のネットワーク構築により、質の良い利用者本位のサービスが提供でき、行政・公共サービスの効率化が図れる。
 - ・ 悪質業者に騙される市民が減少する。
- ・ 実施上の工夫
- 医療・福祉関係者と建築設計・施工関係者が協働することにより、適切な情報提供や住宅改修を可能とする。

(4) 今後の事業展開

相談会、講習会参加者に対して、最新の情報を継続的に発信することにより、正しい知識の定着を図る。

本年度事業で構築した、福祉・医療関係者、建築設計・施工関係者のネットワークを利用して、介護住宅改修に関する調査研究、政策提言事業を推進する。さらにネットワークを広げるため、地域活動支援事業を推進する。

(5) 採択されなかった場合の対応

自己負担で活動する。

2 助成金交付申請額

金 100,000 円

3 申請する理由

既に「事業目的」「期待される効果」で述べたとおり、質の良い利用者本位のサービスを提供し、行政・公共サービスの効率化を図るためには、各種専門家と行政の協働による自立型地域社会の構築が不可欠です。

高齢者や障害者が住みなれた地域でいきいきと暮らし続けられる社会の実現に向け、介護住宅改修を考える市民や医療・福祉関係者及び建築関係者に対する相談助言、知識の普及、適切な情報提供を積極的に推進するため、本年度小牧市において講習会、無料相談会、情報誌発行を行います。

出来る限り支出を抑えるとともに自己努力による資金確保に努めますので、不足資金の助成をお願い申し上げます。

4 助成を受けようとする活動費用の内訳書

収入

項 目	金 額 (円)	内 容
小牧市市民活動助成金	100,000	
講習受講料	50,000	500 円 × 20 名 × 5 回
自己負担	49,200	
計	199,200	

支出

項 目	金 額 (円)	内 容	記号
報償費			
・ 講師謝礼 外部有識者	60,000	20,000 円 × 3 回	報 - 1
・ 関連 NPO 法人より招聘	20,000	10,000 円 × 2 回	報 - 2
・ 相談会相談員謝礼 (関連 NPO 法人等より招聘)	27,000	3,000 円 × 9 回	報 - 3
需要費			
・ 講習会資料用紙・印刷費	10,000	100 円 × 20 部 × 5 回	需 - 1
・ 情報誌用紙・印刷費	3,600	10 円 × 40 通 × 9 回	需 - 2
・ 情報誌発送用封筒費	3,600	10 円 × 40 通 × 9 回	需 - 3
役務費			
・ 相談会告知公告費	31,500	6,300 円 × 5 回	役 - 1
・ 情報誌郵送費	28,800	80 円 × 40 通 × 9 回	役 - 2
使用料			
・ 講習会会場使用料	5,250	1,050 円 × 5 回	使 - 1
・ 相談会会場使用料	9,450	1,050 円 × 9 回	使 - 2
計	199,200		

資金計画表

項 目	金 額 (円)	内 容	記号
講習会(知識の普及啓発事業) 偶数月中旬に開催			
・講習会会場使用料	5,250	1,050 円 × 5 回	使 - 1
・講師謝礼	60,000	20,000 円 × 3 回	報 - 1
外部有識者	20,000	10,000 円 × 2 回	報 - 2
関連 NPO 法人より招聘			
・資料用紙・印刷費	10,000	100 円 × 20 部 × 5 回	需 - 1
無料相談会(相談助言事業) 各月下旬に開催			
・相談会告知公告費	31,500	6,300 円 × 5 回	役 - 1
・相談会会場使用料	9,450	1,050 円 × 9 回	使 - 2
・相談員謝礼	27,000	3,000 円 × 9 回	報 - 3
(関連 NPO 法人等より招聘)			
情報誌発行(情報提供事業) 各月初旬に発送			
・情報誌用紙・印刷費	3,600	10 円 × 40 通 × 9 回	需 - 2
・情報誌発送用封筒費	3,600	10 円 × 40 通 × 9 回	需 - 3
・情報誌郵送費	28,800	80 円 × 40 通 × 9 回	役 - 2
計	199,200		